

第4回久慈地区新設高等学校統合検討会議 議事録

期日 令和6年2月1日(木)

時間 午後2時00分～午後2時30分

会場 岩手県立久慈東高等学校 視聴覚室

1 開会(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)

2 久慈地区新設高等学校統合検討会議座長挨拶(佐々木座長)

検討会議構成員の皆様、本日はお忙しいところ本会議に御出席いただき、感謝申し上げます。今回が第4回となり、最終回と予定している。本日はこれまで皆様に御協議いただいたこと、そして御承認いただいたことに沿って、現在、統合の準備がどのように進んでいるかについての報告をさせていただくとともに、今後の準備の計画について御協議いただく。これまでの会議と同様に、構成員の皆様から多くの御意見を伺い、円滑に統合の準備を更に進めていきたい。本日もよろしく願います。

3 報告(議長 佐々木座長)

(1) これまでの経過について

- ・(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)資料2～3ページを読み上げて報告。
- ・(佐々木座長)ただいまの報告について、質問、意見等はあるか。
- ・(久保構成員)報告1で、「ウ 校舎制の形態、校舎の名称」では「工業科」、「キ 学びの在り方について」では「工業学科」、「ク 教育内容について」では「工業科」となっているが、正式には「工業科」で統一することよろしいか。

〈回答〉(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)「ク 教育内容について」にある「工業科」が正しい名称である。御指摘いただいた「キ 学びの在り方について」の「工業学科の学びの連携」の部分については、第2回で提案した内容をそのまま記載している。学科名は、「工業科」が正式な名称となる。

(2) 進捗状況について

- ・(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)資料3ページを読み上げて報告。
- ・(佐々木座長)ただいまの報告について、質問、意見等はあるか。
- ・質問等なし

4 協議(議長 佐々木座長)

(1) 協議事項1 今後の統合準備の計画について

- ・(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)資料3～6ページを読み上げて提案。
- ・(佐々木座長)ただいまの提案について、質問・意見等はあるか。
- ・提案のとおり承認。

5 その他(久慈東高等学校副校長 三浦幸哉)

・（城内構成員代理）既に決まっている内容だとは思いますが、校訓や教育目標は民間の会社であれば経営理念のように、大事なものだと考えている。以前に課外授業の講師で訪問した高校では、廊下を歩いていて、掃除をしている生徒が全員挨拶をしてくれた。学校として、挨拶の大切さが浸透しているのだと思った。会社を運営していて、新入社員や中途採用の社員にまず挨拶や言葉遣いを教えなければならない。良い学校を卒業していることよりも、挨拶をきちんとできていることの方が好印象であり、挨拶をきちんとできる生徒は、社会にも馴染みやすく、能力も発揮しやすい。可能であれば、スクール・ポリシーにそのようなことを取り入れていただきたい。統合にあたって、事務局の先生方も大変なことと思うが、頑張っ

て良い学校を作っていたいただきたい。

・（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）貴重な御意見をいただきありがたい。参考にさせていただきます。

・（佐々木座長）生徒が挨拶をするということについては、校訓や教育目標に掲げるだけでなく、例えば生徒会の目標にあげたり、スローガンにしたりと、色々なレベルでできる。今の御意見を生徒にも伝え、生徒自らが挨拶の大切さを理解した上で実行できれば良いと考えている。

6 挨拶

（1）岩手県教育委員会挨拶（学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男）

久慈地区新設高等学校統合検討会議を閉じるにあたり、県教育委員会を代表して、挨拶を申し上げる。構成員の皆様方には、昨年6月にこの会議を設置して以降、これまで計4回にわたり、統合新設校の根幹に関わる校名や設置学科、系列、校訓や部活動、制服などについて、地域の子どもたちにとってより良い教育、環境の整備、地域を支える人材育成の場の確保という観点から、それぞれの立場において、想いを込めた御協議をいただいた。皆様の御理解と御協力により、統合新設校の開校に向けた準備を着実に進めることができたことに感謝申し上げます。久慈東高校と久慈工業高校の統合は、総合学科高校と工業の専門高校の、市町村を越えた統合であり、統合新設校は両校の魅力を引き継ぎ、地域や時代のニーズに応える教育を実践する学校として、地域の皆様、そして産業界からも大きな期待を寄せられている。統合検討会議については、本日が最終回となり、両校の教職員による統合準備委員会に今後の検討は引き継がれていくことになる。令和7年4月に新たに開校する久慈翔北高等学校が、長年にわたり県内外に多くの有為な人材を輩出してきた久慈東高校と久慈工業高校両校の伝統を継承し、久慈地域の専門教育の拠点として、魅力があり活力溢れる学校となり、地域と共に歩み、発展し続けていくよう、県教育委員会としても学校への支援に引き続き努めて参りたい。皆様におかれても、これまでと同様の御指導、御支援をいただきますよう、改めて御願い申し上げます。

（2）久慈地区新設高等学校統合検討会議座長挨拶（佐々木座長）

構成員の皆様においては、長い期間にわたって久慈地区新設高等学校の在り方に関わる主要なことについて、新設校の関係者として、生徒たちの学びをより充実したものにするという熱い思いと、地域のさらなる発展を担う子どもたちが育ってほしいという強い願いをもって、多くの貴重な御意見等をいただいていた。皆様の熱心な御協議から得られた方向性に沿って、統合への準備を進めることができている。厚く御礼申し上げます。御意見等をお聞きす

る中で、学校教育というものは、生徒が普遍的なものを学ぶことだけではなく、地域の人々、文化、産業等に密接に関わることを通して、ここにあるもの、ここにしかないものをしっかり掴み取りながら学びを深めていくことも大切だと実感した。このことが、今学校に求められているものであることと理解し、これからの学校づくりの参考とさせていただく。今後、統合に係る具体についての検討は、両校の教職員による統合準備委員会において、本会議で示された根幹に基づきながら進めていく。来年4月に開校する統合新設校が、両校の歴史を礎にしながら、変化の大きい、予測困難なこれからの社会を生き抜くために必要な学びの場として、地域社会の発展を支える人材の育成と生徒自らが学びを深めていくことができる学校となるよう努める。これから新設校は、開校に向けての準備を進め、開校後も発展して行くこととなるので、構成員の皆様においては、今後も御支援、御協力をお願いする。

6 閉会（久慈東高等学校副校長 三浦幸哉）